

村上市市民憲章素案に寄せられた意見のまとめ

	村上市市民憲章（素案）	主な意見のまとめ
前 文	<p>若葉薫る木々 清らかなせせらぎ 稲穂わたる風 夕日きらめく波</p> <p>私たちのふるさとには、自然に恵まれた美しいまちです 人々は、豊かな心と文化を育みながら、歴史を重ねてきました 私たちは、市民であることに誇りを持ち、誰もが輝ける明日に向けてここに市民憲章を定めます</p>	<p>➤全体的に綺麗すぎて、もっと力強さがほしいです（村上まち協） もっと若い方が希望を持てるような力強い市民憲章が良いと思います。</p> <p>➤村上らしさが無いのではないですか（村上まち協） 何か村上というようなものが感じられません。</p> <p>➤若葉薫る木々→樹々がいい（鈴木 ad） ※（〇〇ad=7ドバヰー）</p> <p>➤冬はないのですか（鈴木 ad） 1年の半分近くが冬ですが、冬のイメージが必要です。</p> <p>➤「人々は～」という部分がとても唐突に感じます（瀬波まち協） 「私たちは～」と始まって、「人々は～」となり、また「私たちは～」と続くのは少しおかしいように感じます。「人々は～」というのは唐突に感じます。</p> <p>➤「市民であることに…」を「村上市民であることに…」にした方がよいのではないかと（長谷川 ad）</p>
唱 和 文	<p>はぐくもう 愛と思いやりのこころを つくろう 創意に満ちた明るい未来を</p> <p>ひろげよう 伝統と文化、学びのすばらしさを</p> <p>私たちは、元気あふれるまちを目指します</p>	<p>➤「愛」は「思いやり」に含まれるのではないかと（長谷川 ad）</p> <p>➤「つくろう」に「創意」が含まれるのではないかと。また、最終行「元気あふれるまち」が「明るい未来を」に含まれるうえ、「明るい未来」の方がより高い目標を指しているため、この4行の順序をかえるべきではないかと（長谷川 ad）</p> <p>➤「つくろう」と「創意」は同じことです（鈴木 ad）</p> <p>➤「伝統」は「文化」に含まれるのではないかと。また、「すばらしさをひろげる」という言い方はしないのではないかと。「輪をひろげる」とならないかと。（長谷川 ad）</p> <p>➤順序は「文化と伝統」ではないかと（小川 ad）</p> <p>➤「伝統と文化」の前に「新たな」とつけるべきではないかと（鈴木 ad）</p> <p>➤唱和文2行目と3行目を入れ替えることで、最終行はいらなくなるのではないかと。「元気あふれるまち」<「明るい未来」になるのではないかと（長谷川 ad）</p>

まちづくり協議会の意見

協議会名	意見等
村上地域まちづくり協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の将来が明るくあるような表現を加えてほしい ・村上市のまちづくりに、自ら市民が立ち上がるような力強さがほしい。 ・各まちづくり協議会を結ぶ輪のようなものを表してほしい。
活気あふれる街瀬波まちづくり推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・日本中どこでもいえるようなもので、村上らしさがない。 ・「私たちのふるさと～」といって、「人々は、～」、それからまた、「私たちは、～」という言い回しとなる。「人々は、～」から始まる行が唐突に感じる。「～を人々は、」と入れるべきではないか。 ・最終行について、箇条文の上3段とのつながりが良くない。「そうした元気あふれるまちを目指します」というような言い方にならないか。